

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	日本語教育学教室
課程	博士前期課程
試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般学生 <input type="checkbox"/> 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	外国語
出題の意図	<p>外国語問題</p> <p>受験者にとって母語ではない言語（留学生は日本語）で書かれた学術的な文書を精読し、用語や表現、論点などを適切に把握する力を測る。</p>

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度大学院博士前期（修士）課程入試問題
日本語教育学教室 外国語（英語）2月実施

番号		氏名	
----	--	----	--

次の文章は *Affective Expressions in Japanese : A Handbook of Value Laden Words in Everyday Japanese* という本の Introduction 部分である。文章を全文日本語に訳しなさい。言語学用語の訳や例文の書き方などについては自分で考えて書きなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

(From *Affective Expressions in Japanese : A Handbook of Value Laden Words in Everyday Japanese* by Ronald Suleski and Masada Hiroko, 1982)

2025 年度 大学院博士前期（修士）課程入試問題
日本語教育学教室 外国語（朝鮮語）2月実施

番号		氏名	
----	--	----	--

以下の文章は、真田信治(1993)「日本語の言語政策」（真田信治・任榮哲『社会言語学の展開』・時事日本語社）の一部です。この文章の 4.2.3(pp. 2-6)の全文を日本語に訳してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	日本語教育学教室
課程	博士前期課程
試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般学生 <input type="checkbox"/> 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	基礎知識問題
出題の意図	<p>基礎知識問題</p> <p>日本語教育学やその関連分野において基礎的概念をどこまで理解しているか、そしてそれを簡潔に解説できる力を持っているかを問う。</p>

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度大学院博士前期（修士）課程入試問題
日本語教育学教室 専門分野基礎知識 2 月実施

番号		氏名	
----	--	----	--

次の中から 8 題を選び、それぞれについて 300 字程度で述べなさい。1 題ごとに 1 枚の解答用紙を用いて、受験番号と氏名、選んだ問題番号と題目を一行目に明記しなさい。解答は横書きにしなさい。

1. 破裂音
2. 有対自他動詞
3. 状況的学習論
4. 日本語教育の参照枠
5. 母音の無声化
6. YNU 書き言葉コーパス
7. 母語干渉
8. 非情の受身
9. 準体助詞
10. アクション・リサーチ
11. TBLT
12. スキヤフオールディング
13. エスノグラフィー
14. DLA
15. 命題

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	日本語教育学教室
課程	博士前期課程
試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般学生 <input type="checkbox"/> 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	論文問題
出題の意図	<p>論文問題</p> <p>日本語教育学分野の高度な概念を総合的に論述する能力を測定する。</p>

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度大学院博士前期（修士）課程入試問題
日本語教育学教室 論文 2月実施

番号		氏名	
----	--	----	--

次の問題から 1 題を選び、論じなさい。選んだ番号と題目を解答用紙の一行目に明記しなさい。解答は横書きにしなさい。

1. 社会言語学研究における言語外的要因と言語内的要因
2. 学習者の個人差要因と指導法
3. トランスランゲージングと日本語教育
4. 語の用法・機能の調査にコーパスを用いる利点と欠点
5. 日本語の形態素と助動詞の関係